

## TKC 東京都心会「令和 4 年 政策発表・特別講演」

を開催しました！

第 3 ステージ最終年を終了し新たなステージに進んだ TKC 全国会。新たな運動方針を確認する TKC 東京都心会の「令和 4 年政策発表・特別講演」が開催されました。2 年振りの会場開催（ハイブリッド）、そして新たな運動方針発表という機会に、特別講演では坂本孝司 TKC 全国会会長をお迎えし、全国会会長自らその方針と、方針を実践するための「税理士の独立性」についてご講義いただきました。



司会：東京都心研修所  
所長 村田顕吉朗

日 時：令和 4 年 2 月 2 日（水）13:20～16:45

会 場：明治記念館 蓬莱の間（ハイブリッド）

参加者：267 名（TKC 会員 78 名・職員 127 名、提携・協定企業、金融機関等 62 名）

## TKC 全国会の新たな運動方針

## 未来に挑戦する TKC 会計人

～巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう！～

- ・「TKC 方式の自計化」の推進  
優良な電子帳簿を圧倒的に拡大する
- ・「TKC 方式の書面添付」の推進  
租税正義の守護者となる
- ・「巡回監査」と「経営助言」の推進  
黒字化を支援し、優良企業を育成する

## 【令和 4 年政策発表】

会長 大石尚彦

- ★ 3 つの推進目標は、いずれも並列順位の目標値。TKC 東京都心会は、戦略推進特別委員会（汗血人会）と各委員会とで連携し、新たな方針に取り組みます！
- ★ 新たな活動方針・数値目標が示されるが、一丁目一番地の巡回監査率向上を喫緊の課題として活動をスタートします！



## 【「Road to 2021」から次のステージへ】

戦略推進特別委員長 大井敏生

1. 「月次巡回監査」体制構築を目指す事務所を拡大する施策と同時に、事務所の「DX 化」を目指す事務所を拡大する施策を実施します！
  2. 巡回監査推進と F X シリーズ導入推進で、書面添付実践のハードルは低くなります！
- ★ 令和 7 年の東京都心会 30 周年に向け、新たな運動がスタートする年です！

## 【システム委員会活動方針】

システム委員長 本間康弘

1. 関与先・会員事務所の継続発展のため、関与先の黒字決算と適正申告を支援します。
  2. そのために、税理士の 4 大業務を実践する事務所を目指す＝TKC システム徹底活用を支援
- ★ TKC 方式の自計化を推進し、「優良な電子帳簿」を圧倒的に拡大しましょう！

## 【書面添付推進委員会報告】

書面添付推進委員会副委員長 平井陽子

1. 書面添付「実践メリット」を享受できる地域であることを理解して書面添付を積極的に推進しよう！
  2. 「社会の納得」獲得のため、書面添付実践割合 10.9% 早期達成を目指し、積極的に推進しよう！
- ★ そのためにも「書面添付」の標準業務化をめざそう！

## 【中小企業支援委員会報告】

中小企業支援委員長 山岸崇裕

1. 月次・個人 MIS を推進しよう！
  2. TKC 経営支援セミナーを開催しよう！
  3. ポスコロ持続的発展計画策定し支援をしよう！
- ★ 地域金融機関との連携強化のため、地道な活動を積極的に継続しよう！

## 【特別講演】『未来に挑戦する TKC 会計人』

TKC 全国会 坂本孝司会長

この状況下、会合をやらないことはリスクゼロです。ただしそれでは、社会経済とコロナ対策の両立はかけ声だけになってしまいます。本日は、開催を決断された執行部の方々に敬意を表します。「職業会計人の独立性」は、中長期的に見て、堂々とお客様にも言うべきことを言う。それが先生・職員さんのやりがいになり、社会からの評価も得ることが出来る。それが全てです。「士魂商才」侍の心と経営者のセンスを持つという意味です。社会貢献と自己実現の世界、とりわけ税理士には「士魂商才」と「自利利他」が「職業会計人の独立性」そのものだと考えています。昭和 55 年の税理士法改正の結果、認定支援機関をはじめ、税理士の業務範囲の広がりが実現しています。これは TKC 全国政経研の提言による成果です。税理士は「一般に公正妥当と認められる会計の慣行」の守護者です。また「租税正義」の守護者でもあります。これは確定決算主義の日本において、非常に重要なポイントです。

電帳法改正は正直言ってぼろ負けでしたが、「証憑の電子化」はドイツ以上に厳格化されています。これは評価出来ます。「証憑なくして記帳なし」まさに一気通貫の TKC システムによって「優良な電子帳簿」を圧倒的に拡大しよう！

